

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋経営短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤケイエイタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F223310107101
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	科目名	インターンシップⅠ、Ⅱ
	学部・研究科等名	未来キャリア学科
	担当教職員名・役職	今永典秀：准教授、山本芳功：教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	74
	受入企業等数	4
	受入企業等名	(令和2年度後期は4社)名古屋掖済会病院、坂田内科、飯田クリニック、自衛隊(令和3年度前期は12社)NPO法人G-net、飯田クリニック、坂田内科、医療法人社団大樹会 田辺眼科クリニック、医療法人清水会、第一生命保険株式会社、リゾートトラスト株式会社、株式会社クラウディアコスチュームサービス、AZS entertainment株式会社、エイベックス株式会社、株式会社ミニミニ、東海合金工業株式会社
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	外部機関の利用も含めた学生一人一人に応じたプログラム
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-3.上記回答内容に関する詳細	就職活動を始める前に、学生自身が志望しているまたは興味を持っている職種、業種について実体験を積むことにより、適性や職業観、職業意識について考える機会とする。また事前学習として業界、企業研究やビジネスマナー、プレゼンテーションスキルを学修することにより将来の就職活動に役立てる機会とする。事後学習では、業務の振り返りとともに受け入れ企業からの評価表を公表し、以降の就職活動に必要な事柄を明確化する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	事前学習は授業期間に実施し、実習は休業期間に実施している
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	短期大学 1年 短期大学 2年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	短期大学 1単位

	2-5.上記回答内容に関する詳細	未来キャリア学科の1.2年次を対象。選択科目として、基本的に、夏季・春季の長期休業期間中に実施実施している。基本的に夏、春の休業期間中に実施し、1単位を付与する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	企業に対するモニタリングシートを配布し記載してもらう。学生は日報を提出。
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	企業研究、分野、業種を調べる。新聞等で社会情勢など会社がかかわる情報を調べる。「事前評価アンケート」「チェックリスト ICEルーブリックの活用」「目標設定シート」を作成する。マナー研修やプレゼンテーションの準備等は、キャリア教育の講義と連動し、実施する。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	「事後評価アンケート」「活動日誌、日報」「振り返りシートの作成、今後の目標設定」を作成する。また、受け入れ企業からの評価表を公表し、以降の就職活動に必要な事柄を明確化する。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生は日報を提出し、企業に対しては、学生の活動記録のモニタリングシートを配布。それとは別に誓約書・緊急連絡先などは共有し、トラブル時の対応も可能としている。	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている	

要素④		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
		3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	「事前評価アンケート」「事後評価アンケート」「チェックリスト ICEルーブリックの活用」「目標設定シート」「活動日誌、日報」「振り返りシートの作成、今後の目標設定」を作成。事前事後のアンケートと、ICEルーブリックをまとめて冊子とし、事前の目標設定や自己理解、実施中の日誌、事後の振り返りと今後の目標設定と行動計画を一元化したレポート形式の振り返りを記載するラーニングポートフォリオの活用と、ICEルーブリックを活用することで、主体的で深い学びが促進されることを期待する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	連続した5日間～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	事前1日＋実施3日＋事後1日
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	5日未満の参加の合計が5日間以上
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	様々な形態を併用できるようにしている。事前1日と実施3日（3社）と事後1日の5日以上、もしくは5日未満の参加の合計が5日間以上の実施とし、日々の報告書の作成とともに受け入れ企業からも評価表を作成してもらう。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している

		6.企業と協働して、P D C Aを実施している
		7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	(令和3年度より) NPO法人G-netと連携した取り組みを実施している。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	1.NPO法人G-netと協働し「取材型インターンシップ(シゴトリップ)」を実施。2.企業等に学生が事前訪問し、インターンシップ傘下に対しての動機付けや目標、目的の明確化を図っている。4.受け入れ企業等に参加学生の評価表の作成を依頼。結果を学生に公開している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syb.nagoya-su.ac.jp/syllabus/html/2021_51701291.html
問い合わせ先	大学等名	名古屋経営短期大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	課員
	担当者氏名	藤島正史
	電話番号	0561-55-3078
	メールアドレス	career@nagoya-su.ac.jp